

地球温暖化について学ぼう

地球温暖化による被害の現状とその原因が私たちの生活と密接に関係していることを学びます。また、地球のモデルを用いた実験と、省エネ事例の体験を通じて私たちに来ることを学びます。

対象（学年）：小学生
人数：クラス単位
実施場所：教室、屋内
所要時間：1 時限

内容

1. いま地球規模で気候変動が起こり、大型台風や豪雨による大洪水の被害が年々増加しています。また一方では氷河が溶けて海面上昇により陸地がなくなる国もでています。
これらの現状を写真で紹介し、これらが起きている原因には、温室効果ガスの一つである二酸化炭素を発生させる化石エネルギーの使用の増加があり、私たちの生活に関係していることを学びます。
2. 次に地球に見立てた水槽の中でキャンドルを燃やし、その時の二酸化炭素の濃度を測定し、その変化を児童たちと一緒にグラフにします。
その中で二酸化炭素が増え続けると人間が快適に生活する二酸化炭素の管理濃度（1000ppm以下）にも影響することに気づいてもらいます。
3. 最後に生活の中での取組み事例を実験を交えて共有します。
 - (1) 電気エネルギーを減らすことは、二酸化炭素を減らすことにつながることを知ってもらい、身近な取組み事例を実験で紹介します。
 - ①白熱電球とLEDランプの消費電力の比較実験
 - ②太陽光発電ハウス（ZEH）での蓄電付きの有無での比較実験
 - (2) 生活の中での身近な省エネや節電の具体的な取組みを、みんなで共有して、自らが考え行動に移せるきっかけ作りのプログラムです。

講師 NPO法人 ひらかた環境ネットワーク会議
連絡先 NPO法人 ひらかた環境ネットワーク会議
TEL 072-847-2286 FAX 072-807-7873
E-Mail jimukyoku@hirakata-kankyou.net

